



# ボリューム関係レポートをカスタマイズする Active IQ Unified Manager

NetApp  
October 15, 2025

# 目次

ボリューム関係レポートをカスタマイズする .....	1
障害の原因別にボリューム関係をグループ化するレポートを作成する .....	1
問題別にボリューム関係をグループ化するレポートを作成する .....	2
特定の時間間隔でのボリューム転送の傾向を表示するレポートを作成します .....	2
ボリューム転送の失敗または成功を表示するレポートを作成します .....	3
転送サイズに基づいてボリューム転送を表示するレポートを作成します .....	4
日別にグループ化されたボリューム転送を表示するレポートを作成します .....	4

# ボリューム関係レポートをカスタマイズする

ボリューム関係インベントリ レポートでは、クラスタ内のストレージ インベントリの詳細を分析できるほか、ボリュームに必要な保護レベルを把握したり、障害の原因、パターン、スケジュールに基づいてボリュームの詳細をフィルタリングしたりすることができます。

## 障害の原因別にボリューム関係をグループ化するレポートを作成する

関係が正常な状態でない理由別にボリュームをグループ化するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、ボリュームを障害の原因別にグループ化するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > ボリューム をクリックします。
2. [表示] メニューで、[リレーションシップ] > [すべてのリレーションシップ] を選択します。
3. 表示/非表示 を選択して、ビューに「関係の健全性」列と「不健全な理由」列が表示されることを確認します。

他の列を追加または削除して、レポートにとって重要なビューを作成します。

4. 「関係の健全性」列と「不健全な理由」列を「状態」列の近くにドラッグします。
5. フィルター アイコンをクリックし、次のフィルターを追加して、[フィルターの適用] をクリックします。
  - 関係の健全性に問題あり
6. 「異常な理由」列の上部をクリックして、障害の原因別にボリューム関係をグループ化します。
7. ビューに表示されている内容を反映する特定の名前 (例: 「Vol relationship by failure」) でビューを保存します。
8. インベントリページの\*スケジュールされたレポート\*ボタンをクリックします。
9. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドを入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、障害のタイプごとに原因と影響を調査できます。

# 問題別にボリューム関係をグループ化するレポートを作成する

ボリューム関係を問題別にグループ化するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、ボリューム関係を問題別にグループ化するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > ボリューム をクリックします。
2. [表示] メニューで、[リレーションシップ] > [すべてのリレーションシップ] を選択します。
3. レポートに不要な列を削除するには、[表示/非表示] を選択します。
4. 「Unhealthy Reason」列を「State」列の近くにドラッグします。
5. 「Unhealthy Reason」列の上部をクリックして、ボリュームを問題別にグループ化します。
6. ビューに表示されている内容を反映する特定の名前 (例: 「Vol relationship by issue」) でビューを保存します。
7. インベントリページの\*スケジュールされたレポート\*ボタンをクリックします。
8. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドを入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、問題のタイプごとに原因と影響を調査できます。

## 特定の時間間隔でのボリューム転送の傾向を表示するレポートを作成します

特定の期間のボリューム転送の傾向を表示するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、特定の期間のボリュームを表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > ボリューム をクリックします。
2. [表示] メニューで、関係 > 過去 1 か月の転送ステータス を選択します。
3. レポートに不要な列を削除するには、[表示/非表示] を選択します。
4. 「転送期間」列を「操作結果」列の近くにドラッグします。

5. フィルター アイコンをクリックし、次のフィルターを追加して、[フィルターの適用] をクリックします。
  - 転送終了時間が過去7日間以内
6. 「転送期間」列の上部をクリックすると、ボリュームを時間間隔で並べ替えることができます。
7. ビューに表示されている内容を反映する特定の名前 (例: 「Volumes by duration」) でビューを保存します。
8. インベントリページの\*スケジュールされたレポート\*ボタンをクリックします。
9. レポートスケジュールの名前を入力し、頻度を「毎週」に設定し、他のレポートフィールドに入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、転送期間を調査できます。

## ボリューム転送の失敗または成功を表示するレポートを作成します

ボリューム転送のステータスを表示するレポートを作成できます。このレポートでは、失敗したボリューム転送と成功したボリューム転送の両方を確認できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、失敗した転送と成功した転送を表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > ボリューム をクリックします。
2. [表示] メニューで、関係 > 過去 1 か月の転送ステータス を選択します。
3. レポートに不要な列を削除するには、[表示/非表示] を選択します。
4. 「操作結果」列を「状態」列の近くにドラッグします。
5. 「操作結果」列の上部をクリックすると、ボリュームをステータス別に並べ替えることができます。
6. ビューに表示されている内容を反映する特定の名前 (例: 「転送ステータス別のボリューム」) でビューを保存します。
7. インベントリページの\*スケジュールされたレポート\*ボタンをクリックします。
8. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドを入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、転送ステータスを調査できます。

# 転送サイズに基づいてボリューム転送を表示するレポートを作成します

ボリューム転送を転送サイズに基づいて表示するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、ボリューム転送を転送サイズに基づいて表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > ボリューム をクリックします。
2. [表示] メニューで、関係 > 過去 1 か月の転送率 を選択します。
3. 「合計転送サイズ」列の上部をクリックすると、ボリューム転送をサイズ順に並べ替えることができます。
4. ビューに表示されている内容を反映する特定の名前 (例: 「転送サイズ別のボリューム」) でビューを保存します。
5. インベントリページの\*スケジュールされたレポート\*ボタンをクリックします。
6. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドを入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、ボリューム関係を転送サイズ別に調査できます。

# 日別にグループ化されたボリューム転送を表示するレポートを作成します

ボリューム転送を日付別に表示するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、ボリューム転送を日付別に表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > ボリューム をクリックします。
2. [表示] メニューで、関係 > 過去 1 か月の転送率 を選択します。
3. 「日」列の上部をクリックすると、ボリューム転送が日ごとに並べ替えられます。
4. ビューに表示されている内容を反映する特定の名前 (例: 「Volume transfers by day」) でビューを保存します。

5. インベントリページの\*スケジュールされたレポート\*ボタンをクリックします。
6. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドを入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、ボリューム転送を日付別に調査できます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。